

教材作成のための動画処理

1 ノンリニア編集とは

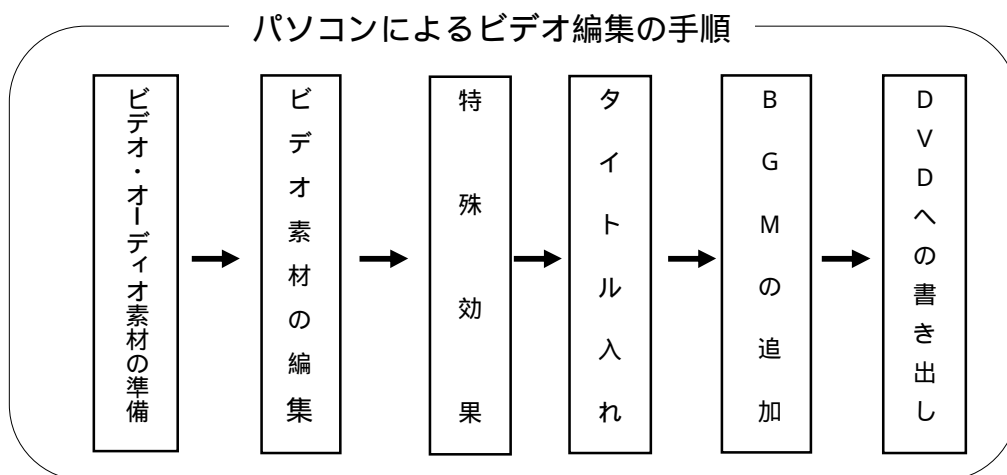
複数のビデオ素材をつなぎ合わせて一つの作品を作るには、ビデオデッキからビデオデッキへ順々にコピーする方法があり、これを「リニア編集」といいます。この場合、必要な部分の編集を行うためにビデオテープの巻き戻しや早送りを頻繁に実行することが必要でかなり面倒な作業となります。

それに対し、コンピュータに取り込まれたビデオ映像はハードディスクに保存されます。ハードディスクは映像の場所へのアクセスが瞬時に行えるので、バラバラのカットをつなぎ合わせるのに作業が大幅に改善されます。「リニア編集」に対し、これを「ノンリニア編集」といいます。

2 ビデオ編集の手順

2.1 ビデオ編集の手順

動画編集の主な手順は次のとおりです。



実習に入る前に各自のパソコンの D ドライブに[動画編集]という名前でフォルダを作成して、その中に実習に使う動画・BGM の素材を保存しておいてください。

2.2 教材として使用する素材

(1) この実習で使う「動画」は、次の7つです。



(2) それぞれの「動画」を一つずつ再生して確認してみましょう。

マウスで「ブーゲンビレア」のファイルをダブルクリックして動画の状況を確認してみます。「Windows Media Player」が起動し、動画が再生されます。



以下、他の動画ファイルも同様に確認します。

(3) 最後に、これらの素材をひとつにまとめたあげた作品をみてみましょう。
(作品完成.avi)

それでは
この7つの動画を一つに編集してみましょう・・・。

2.3 Premiere の起動とパネル構成

(1) 「Premiere Elements 7」を起動します。すると、初期画面が現れます。

- ・新規プロジェクト...新しいプロジェクトを作ります。
- ・プロジェクトを開く...以前に作成したプロジェクトを開きます。
- ・インスタントムービー...素材を指定してビデオ作成はすべてソフトに任せるやり方です。

今回は、新規プロジェクトをクリックします。

プロジェクト
動画編集における映像や音声、画面効果などの要素をまとめたファイル



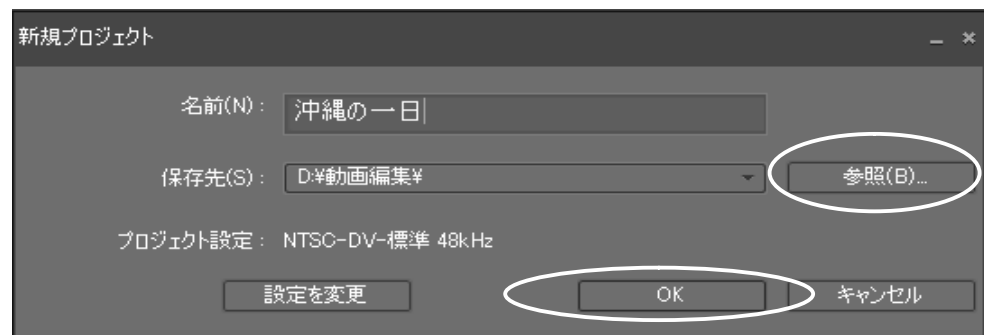
(2) 新規プロジェクトウインドウでプロジェクトの名前と保存先を指定します。

名前(N): 沖縄の一日

保存先(S): D:\動画編集\ とします。

保存先は参照(B) ボタンをクリックして、Dドライブに新しいフォルダを作成して、フォルダ名を動画編集とします。

(3) OK ボタンをクリックします。

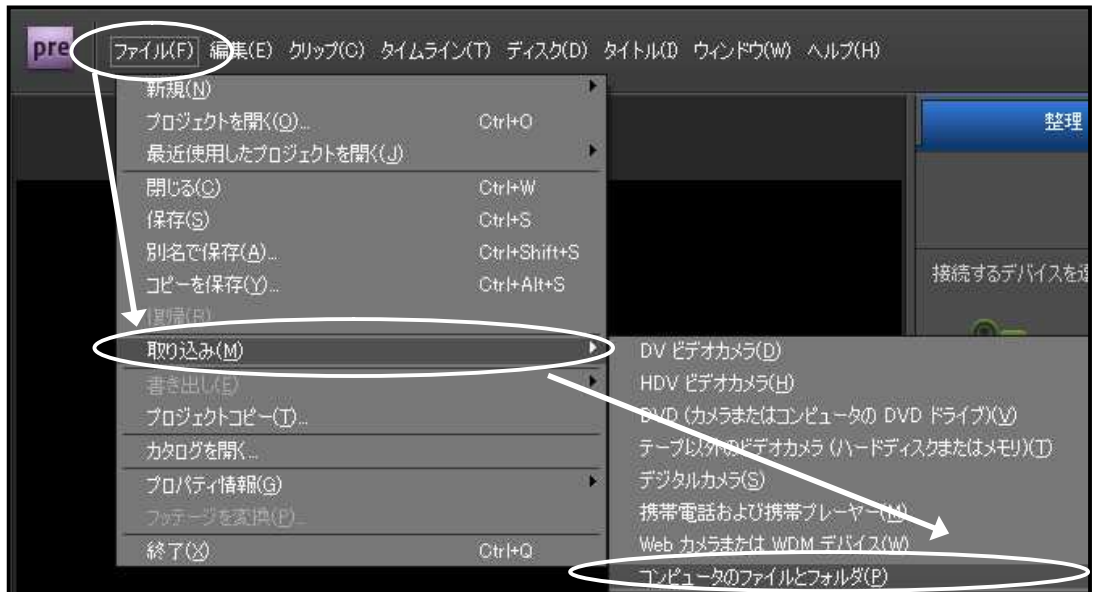


(4) ワークスペースが表示されます。



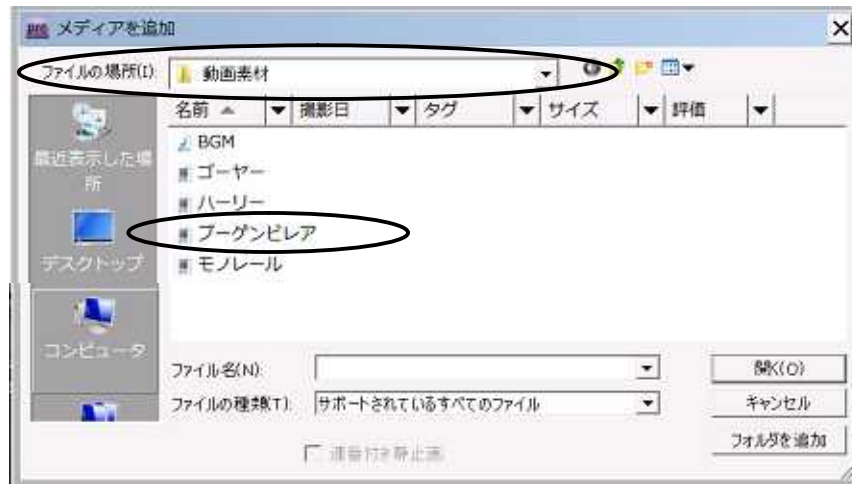
2.4 素材の読み込み

(1) 「ブーゲンビレア」のファイルを読み込みます。メニューバーの[ファイル]の[取り込み]の[コンピュータのファイルとフォルダ]をクリックします。

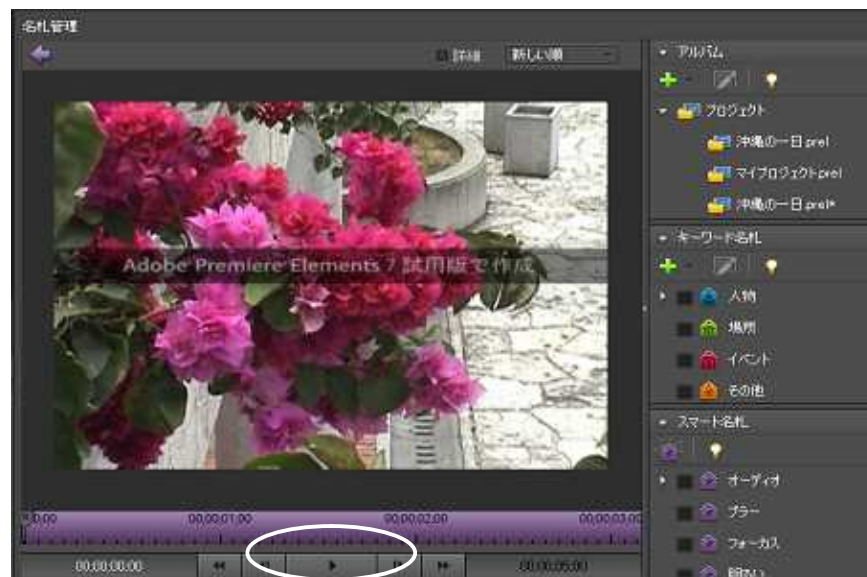


- (2) [ファイルの場所] を指定して素材を表示させ [ブーゲンビレア] をダブルクリックして、取り込みます。他の素材も同様に取り込みます。

素材の選択
 Shift キーを押しながらクリックすると範囲を指定して選択できる。
 Ctrl キーを押しながらクリックすると個別選択になる。



- (3) メディアパネル内の素材をダブルクリックしてモニタを表示させ、「再生/一時停止ボタン」で読み込んだ動画を確認してみましょう。

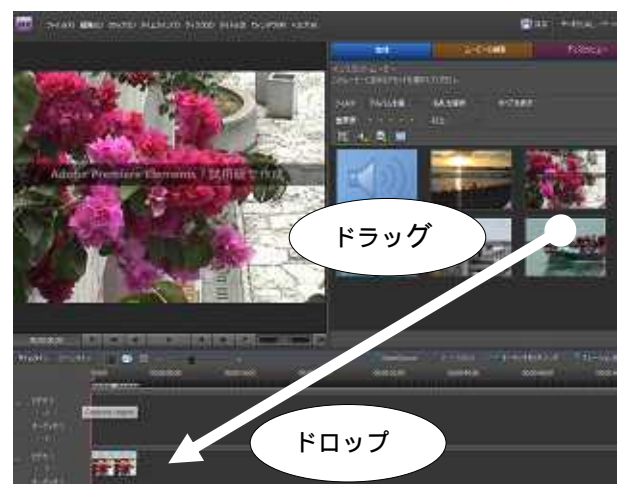


他のビデオ素材（動画）も同じ要領で確認しましょう。

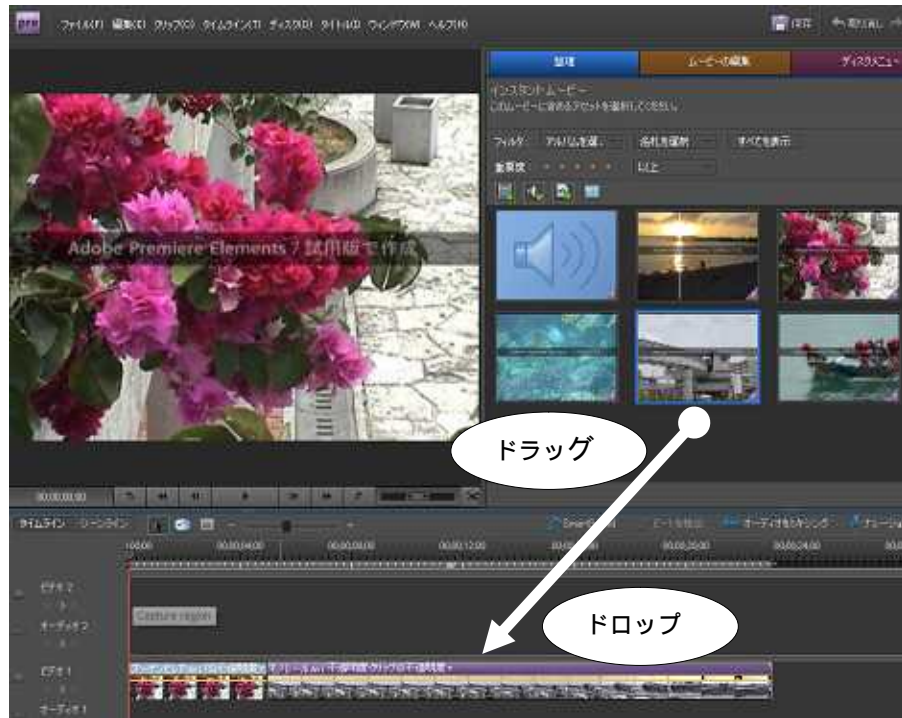
5 タイムラインへの素材の配置

- (1) メディアパネルの「ブーゲンビレア」をドラッグ&ドロップでタイムラインパネルのビデオ1のトラックに配置します。

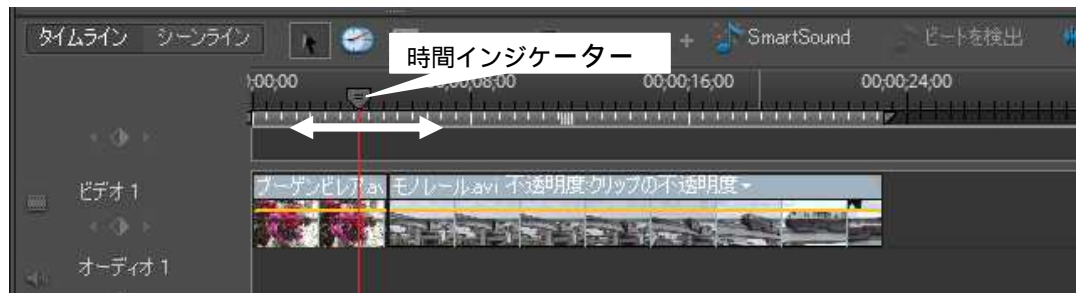
すると、タイムラインに配置された、ビデオ素材がモニタ画面に表示されます。そこでも、再生/一時停止ボタンが使えます。



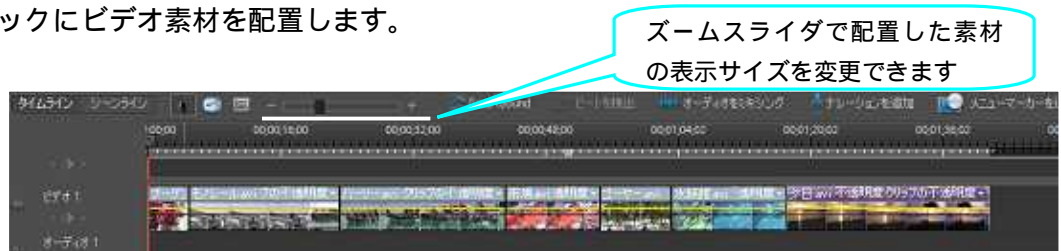
- (2) ビデオ素材「モノレール」をタイムラインパネルの「ビデオ1」のトラックに配置します。



- (3) 配置されたビデオ素材がどのような動きになったのか確認するために、タイムラインパネルの時間インジケータを左右にスライドさせ、モニタパネルでつながりを確認します。



- (4) 残りの5つのビデオ素材をタイムラインパネルに配置しましょう。
配置する順序は、「ハーリー」、「市場」、「ゴヤー」、「水族館」、「夕日」の順で、トラックにビデオ素材を配置します。



- (5) すべてのビデオ素材が配置されたところで、モニタパネルの再生/一時停止ボタンをクリックし映像の動きを確認します。

2.6 画面の切り替えの特殊効果

Premiere で使われる動画や静止画、音楽などの素材をクリップといいます。2つのビデオクリップ間の切り替わり方を変化させる特殊効果を「エフェクト」と呼びます。

2つのビデオクリップの間に、エフェクトコントロールを追加することで、簡単に効果的な画像の切り替えが行えます。

では、「ブーゲンビレア」と「モノレール」のクリップで実際にエフェクトをかけてみましょう。

- (1) 効果トラックにトランジション効果を設定します。
今回は3Dモーションからカーテンを選択します。
- (2) 「タイムライン」を「シーンライン」に変更します。



- (3) [タスクパネル]の[ムービーの編集]をクリックします。



- (4) トランジションをクリックして各種トランジションを表示させます。
(メニューバーの「ウインドウ」「トランジション」でも表示できます。)



(5) ドラッグ&ドロップでカーテンのトランジション効果を貼り付けます。

ドラッグアンドドロップ

マウスの左ボタンを押したままにして、ファイルやフォルダを捕まえて目的の場所まで移動して指をはなす操作。



(6) モニタパネルで動画を再生して効果を確認します。
(時間インジケータをドラッグして移動することでも確認できます。)



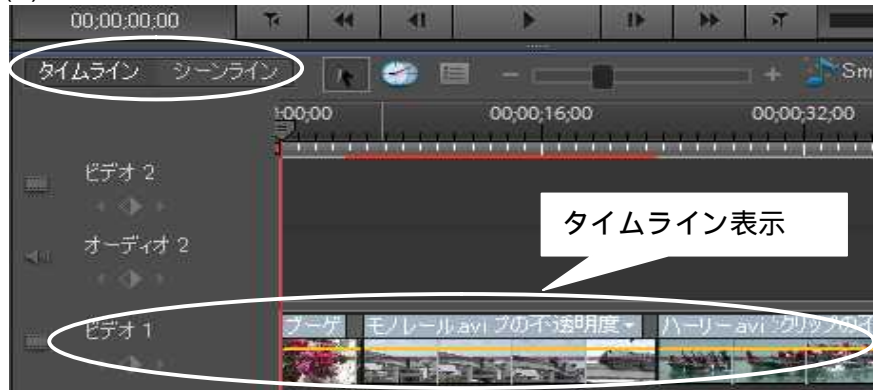
(7) (4), (5)の操作を繰り返して「市場」、「ゴーヤー」、「水族館」、「夕日」のそれぞれのビデオ素材についても好きな効果を設定してみましょう。

注：短い動画の中に多くの種類のトランジションを使うと観る側はまとまりのない印象を持つてしまうので2から3種類に抑えることも大事です。

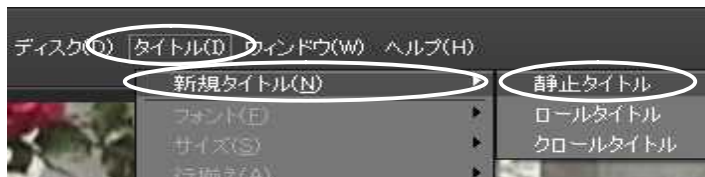
2.7 タイトルクリップの作成

「ブーゲンビリア」のビデオクリップを背景にして、タイトルを作成します。

(1) 「シーンライン」を「タイムライン」に変更します



(2) [メニューバー]の[タイトル]の[新規タイトル]の[静止タイトル]をクリックします。



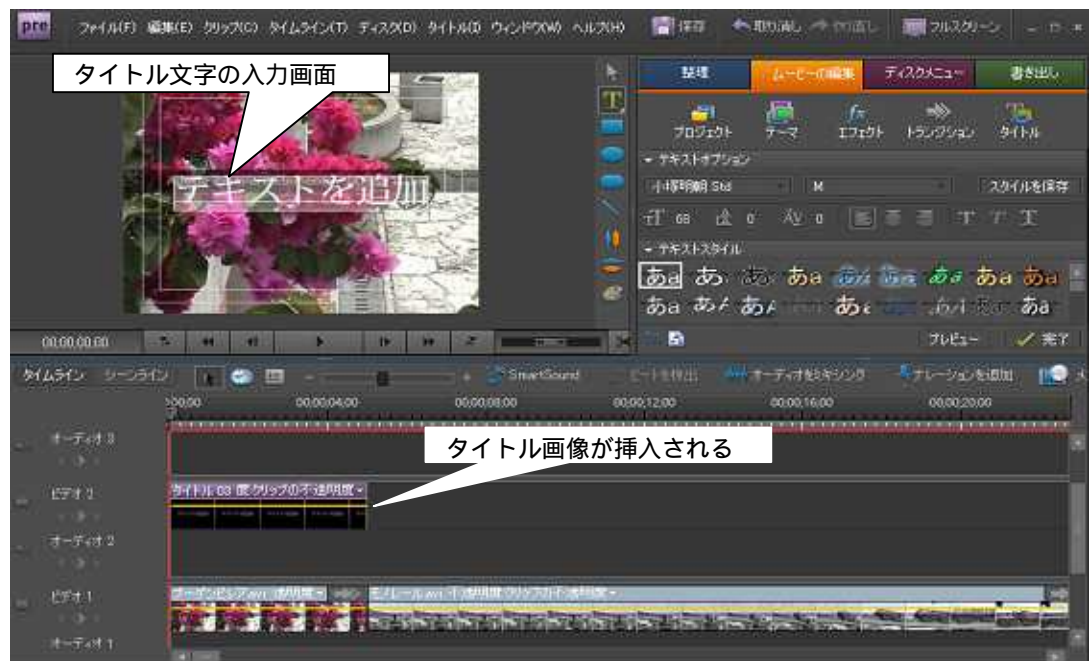
(3) タイトル入力画面がモニタパネルとタイトル画像がタイムラインのビデオ2に配置される。

「テキストを追加」の文字をクリックして「沖縄の一日」と入力する。

キーボード左上の「Esc」キーを押し、タイトルを確定する。

「テキストスタイル」のテンプレートをクリックして文字をデザインする。

タイトル文字をドラッグアンドドロップして位置決めをする。

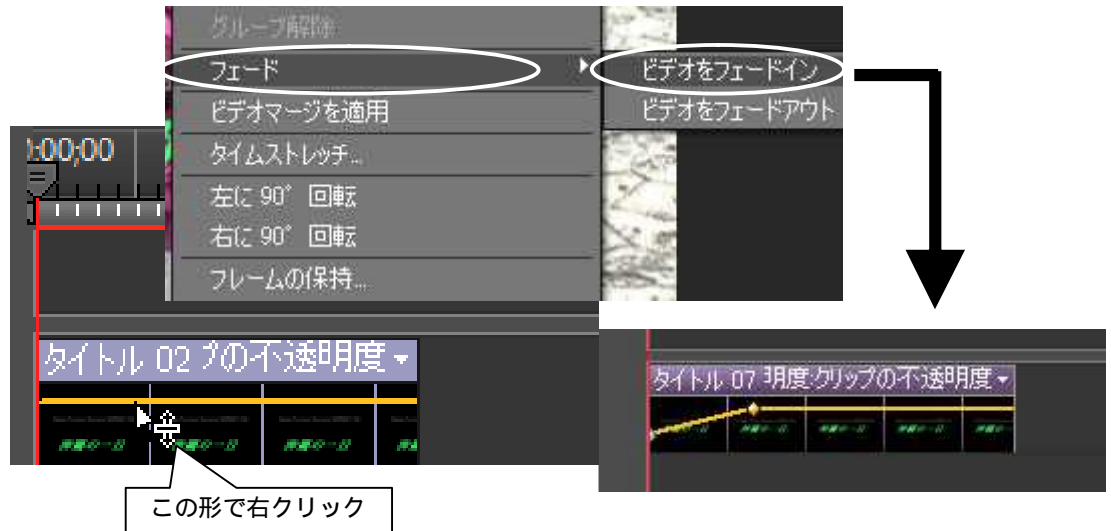


- (4) タイムラインのビデオ 2 に配置されているタイトルクリップの右端に当たったマウスの形が下図のような形になったらドラッグして左右に動かして表示時間を決めます。



- (5) タイトル画像にフェードインの設定をします。
 タイトル画像の黄色い線の左側 1 / 3 あたりにマウスを置き、右クリックして「フェード」の「ビデオをフェードイン」をクリックします。

フェードイン
 文字などが
 徐々に現れて
 くる効果。



- (6) タイトル画像にフェードアウトの設定をします。
 タイトル画像の黄色い線の右側 1 / 3 あたりにマウスを置き、右クリックして「フェード」の「ビデオをフェードアウト」をクリックします。

フェードアウト
 文字などが
 徐々に消えて
 いく効果。



- (7) 黄色い線上の白丸をドラッグして左右に動かしてフェードイン，フェードアウトの時間が変更できます。モニターパネルで確認しながら自分のイメージどおりに設定してみましょう。

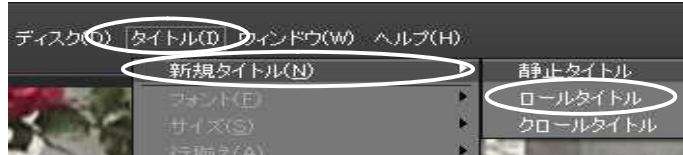
2.8 ロールタイトルの作成

編集した画像の最後にエンドロールを表示させてみましょう。

ロールタイトル

映画用語で、映画の最後に、会社やスタッフ・関係者の名前等が下から上へ流れるように出てくる効果。

- (1) 基本的にはタイトル作成と同様です。時間インジケータを「夕日」のクリップに移動します。
- (2) メニューバーの[タイトル]の[新規タイトル]の[ロールタイトル]をクリックします。



- (3) ロールタイトル入力画面が表示されロールタイトルがタイムラインのビデオ 2 に配置されます。



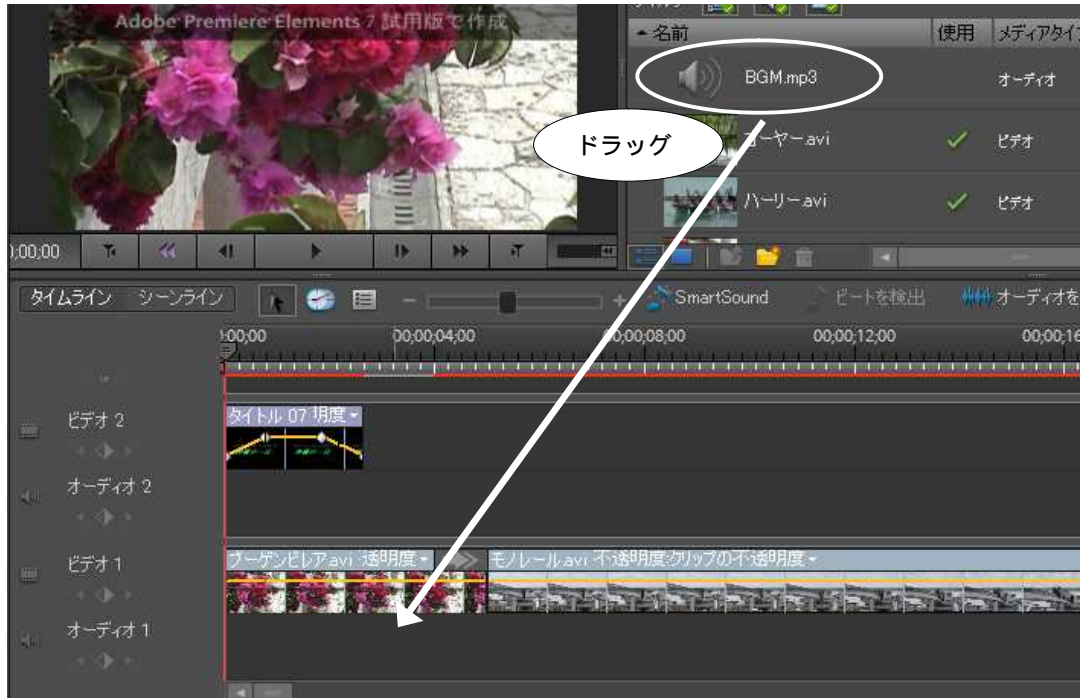
- (4) 下図のようにメインタイトルと項目を入力します。



2.9 音楽 (BGM) の追加

最後は、音楽を追加して仕上げましょう。

- (1) メディアパネルに読み込まれた「BGM.mp3」をタイムラインパネルのオーディオ 1へ配置します。



- (2) 音楽 (BGM) を配置した後の動作確認をします。
モニタ画面の再生ボタンをクリックすると、BGM が流れ、これまで配置した素材 (クリップ) の様子が一連の動作で確認できます。

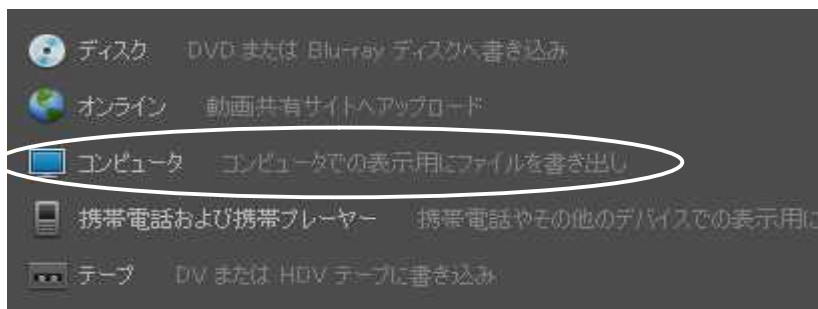
2.10 タイムラインの書き出し

動作状況を確認し、良ければこの一連の動画を「書き出し」で出力します。ここでは最後に教材として使用することを目的とし、「MPEG」で出力します。

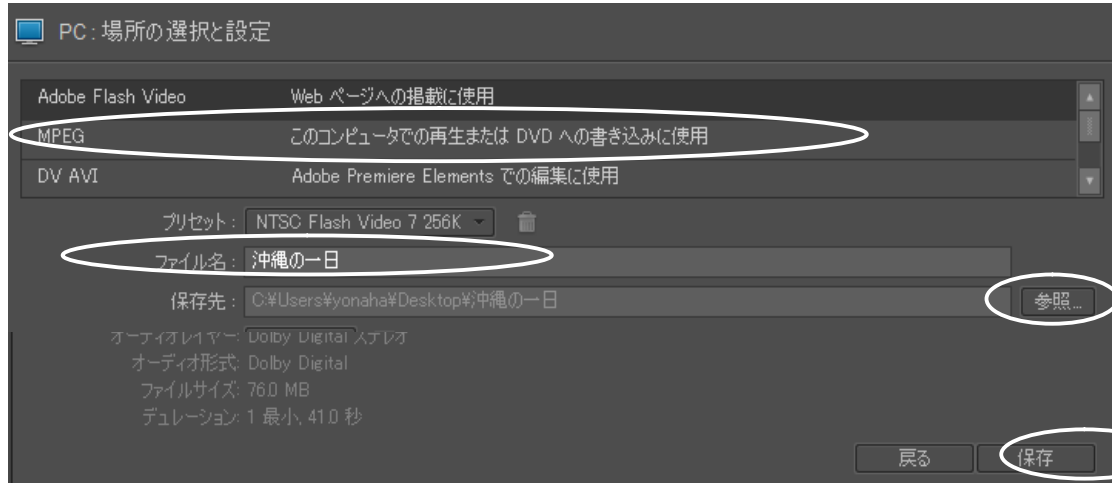
- (1) [タスクバー] の [書き出し] ボタンをクリックします。



- (2) コンピュータをクリックします

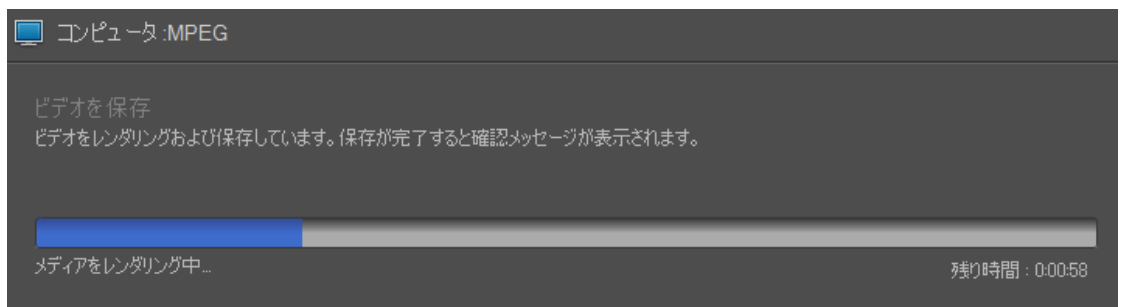


(3) 書き込み形式として [MPEG] をクリックし、ファイル名をつけ、参照をクリックして保存先を決め、[保存] をクリックします



Advanced
Windows
Media
Windows
Media 形式の
ストリーミング
メディアのこ

(4) ファイルの書き出しにはエンコードに少々時間が必要です。



2.11 マーカーの設定

完成した作品を、マーカーを設定して DVD へ書き出します。

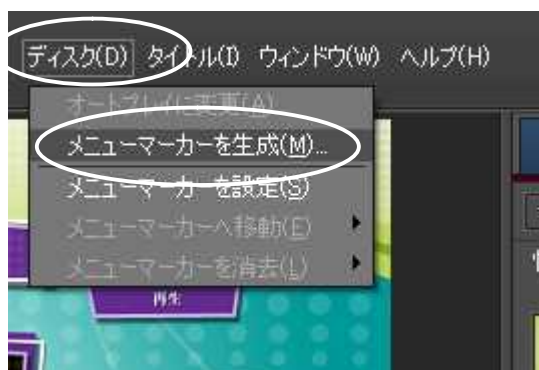
マーカー...DVD プレーヤで鑑賞できる DVD を作成する場合、マーカーを設定して動画の頭出しや早送りができるようにすると見やすくなります。

メインメニューマーカー... 1 枚のディスクに複数の動画を保存する場合、各々の動画の頭出しのため設定する。

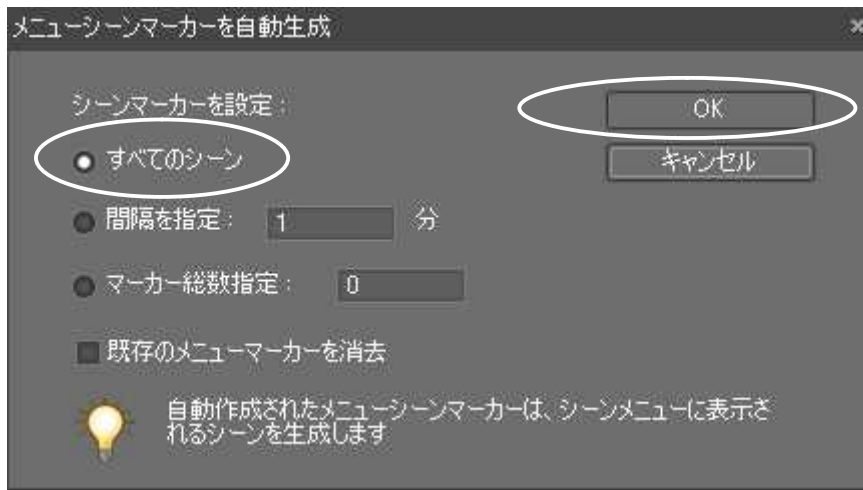
シーンマーカー... 1 本の動画の中でさらに細かくシーンを分けたいときに設定する。

ストップマーカー... 動画の一番最後に設定し、動画が終了すると自動的に最初に戻る。

(1) メニューバーの [ディスク] の [メニューマーカーを生成] をクリックします。



- (2) 「メニューシーンマーカを自動生成」というウインドウが開きます。
 [すべてのシーン]にチェックして, [OK]ボタンをクリックします。



すべてのシーン...各クリップの間にシーンマーカを設定します。
 間隔を指定...指定した間隔ごとにシーンマーカを設定します。
 マーカ総数指定...指定した数のシーンマーカが等間隔で設定されます。

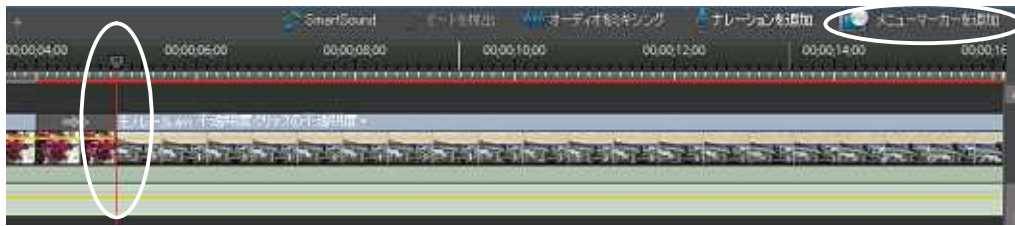
- (3) シーンマーカが自動的に設定されます。



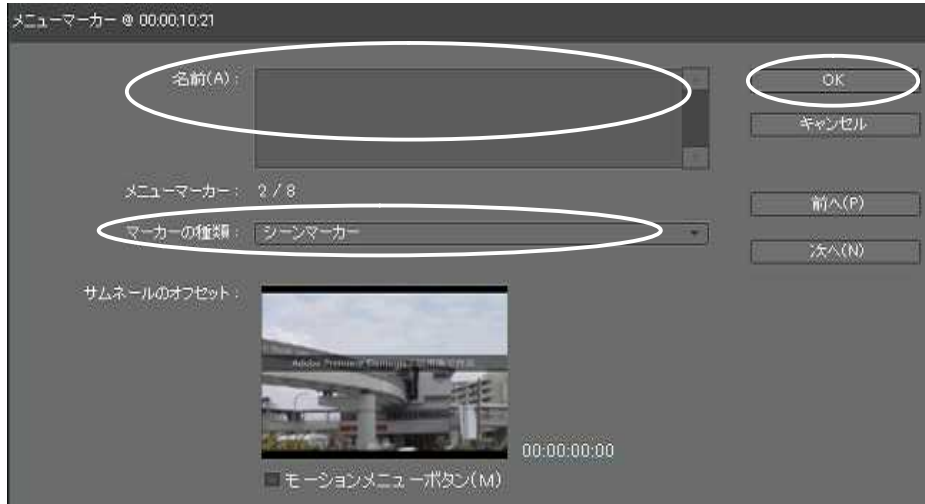
- (4) メニューマーカをダブルクリックで開き [名前] とマーカの種類を入力し, [OK] をクリックする



- (5) 手でマーカーを設定する場合は [時間インジケータ] を移動させ、
[メニューマーカー追加] ボタンをクリックします。

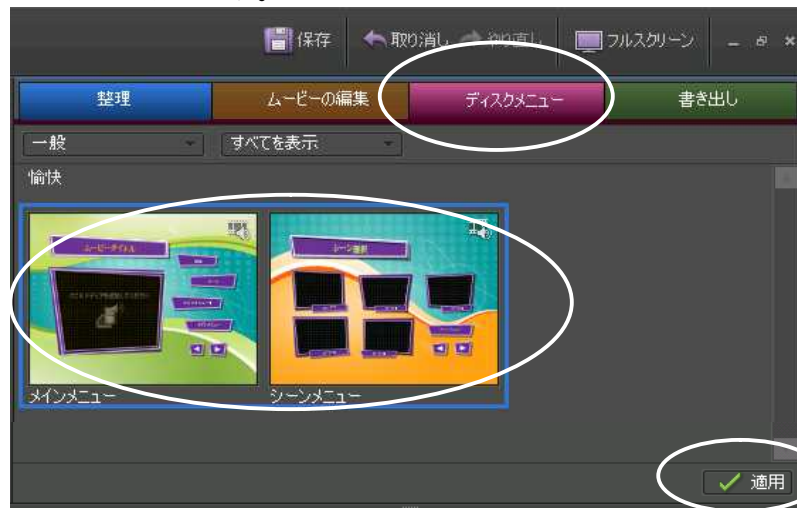


- (6) メニューマーカーが開くので [名前] と [メニューマーカーの種類] を入力して [OK] をクリックします。



2.12 DVD への書き出し

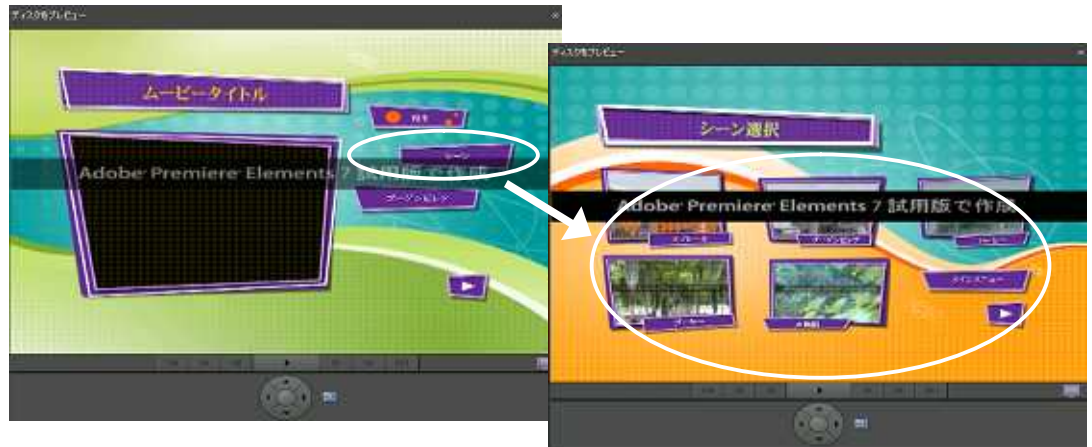
- (1) タスクメニューの [ディスクメニュー] をクリック , テンプレートを選択し , [適用] をクリックします。



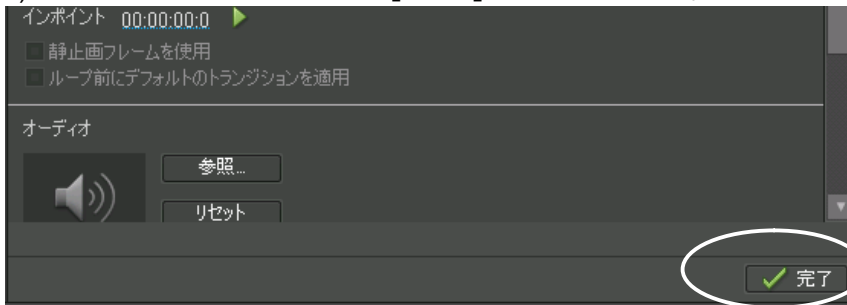
- (2) [プレビュー] をクリックして作成時の状態を確認します。



(3) [シーン] をクリックするとシーンマーカーに設定した名前が表示されます



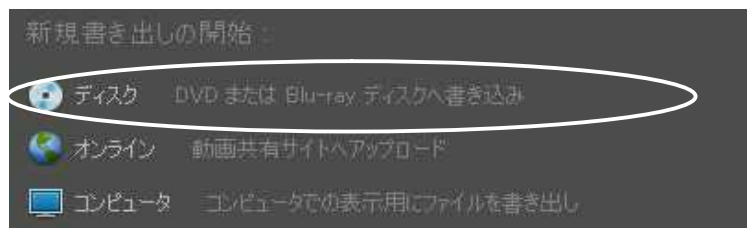
(4) すべての設定が終了したら [完了] をクリックする。



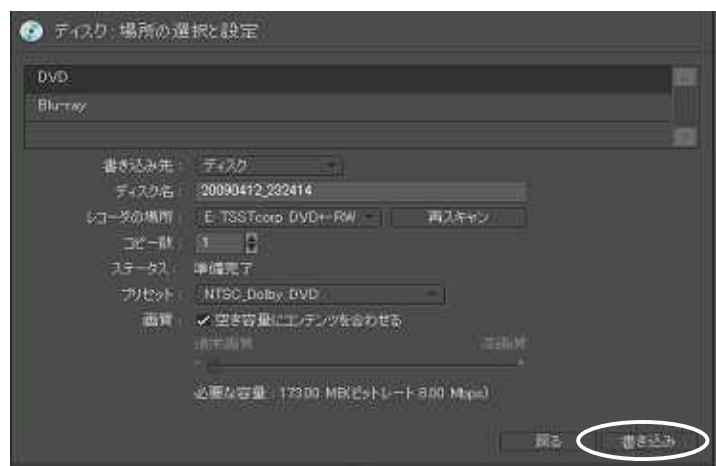
(5) 未使用の DVD - R を DVD ドライブにセットして、[書き出し] ボタンをクリックします。



(6) [ディスク] をクリックします。



(7) 書き込み先がディスクになっていることを確認して [書き込み] ボタンをクリックして書き込みを開始します。



(8) 書き込みが終了したら自動的に DVD が排出されます。